

### 平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	小泉山体験の森 整備事業
事業主体 (連絡先)	小泉山体験の森創造委員会 事務局 (茅野市教育委員会 生涯学習課) 茅野市塚原二丁目6番1号 0266-72-2101 (内線634)
事業区分	(3) 教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ハード
総事業費	1,716,768円 (うち支援金: 1,140,000円)

#### 事業内容

- ・安心・安全な里山を目指し、崩れてしまった下古田登山道の階段整備や、小泉山全体で標柱を16本、矢印看板24基、由来看板を8枚付け替えた。作業は委員や地域住民、地域の子どもたちに協力を呼びかけ、地域全体で整備・活用していることを再確認する機会となるよう働きかけた。
- ・9月16日(日)下古田、10月7日(日)上古田、10月8日(月・祝)栗沢、10月20日(土)南小泉、11月23日(金・祝)中沢、11月25日(日)田道、12月1日(土)山頂にて、委員、地域の方、子ども、保護者が参加
- ・11月17日(土)階段整備 代表幹事を中心に整備



【矢印看板設置作業の様子】

#### 【目標・ねらい】

- ①きれいな登山道、見やすい看板の設置
- ②地域住民や子どもたちに参加してもらい、啓発の機会とする
- ③活用してもらう機会を増やす

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ・作業には、各地区1~20名の子ども参加があり、併せて保護者にも参加してもらうことができた。
- ・夏の植物観察会は、昨年2名の子ども参加があったが、今年は6名に参加してもらえた。
- ・オオムラサキの保護活動を通じて、子どもたちにより小泉山に興味を持ってもらうことができた。(放蝶会の子ども参加者が、平成29年度12名から平成30年度は18名に増加。また、保育園での観察場所が1園増加。)
- ・今年度新たに、東部中学校1年生40名が小泉山の整備活動について体験学習を行った。

#### ※自己評価【 B 】

##### 【理由】

普段から整備している地区部会を中心に、委員以外の地域住民や子どもに参加を呼びかけた。子どもだけでなく保護者にも参加をしてもらうことで、家族でも小泉山を楽しめることをアピールできた。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

小泉山で体験したことが子どもたちの心に残るよう、引き続き小泉山の整備や様々な活動、イベントを主催していきたい。来年度以降も、地域住民、学校関係者や行政と協働し、整備活動やオオムラサキの保護活動など継続して行っていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある